

公開講座

「公益信託・高知市まちづくりファンド助成事業『HBG はなまるキッズ・こうち』開催

2019 年 12 月 15 日(日)、高知県立障害者スポーツセンターにおいて、公開講座「公益信託・高知市まちづくりファンド助成事業『HBG はなまるキッズ・こうち』(協力:研究ブランディング事業「スポーツ・健康福祉部門)」が開催された。参加者は、高知県内在住の身体、および知的にも最重度の障害がある方が 11 名参加した。

ボランティア支援者は、高知県から 12 名、愛媛県から 1 名、神奈川県から 1 名が参加した。広島県からは、重度・重複障害児スポ・レク活動教室「HBG はなまるキッズ」のボランティア支援者 9 名(内、山口県から 2 名)が参加し、計 53 名が参加した(写真一1)。



写真一1 参加者全員で記念写真

実際の活動では、日頃、スポーツや運動などの活動が難しい重度障害のある子供達が、様々な用具や指導方法を工夫したアダプテッド・スポーツにより、ダイナミックに身体を動かし、多くの刺激を体感してもらうことができた。活動中は終始、会場は賑やかで、集まった参加者の笑い声や笑顔が弾けていた(写真一2、3、4、5、6)。また、医師、理学療法士、作業療法士、特別支援学校教諭、療育園保育士、介護福祉士、福祉施設支援員、施設経営者等が集まったことで、他職種による情報交換や交流を深めながらサポーター養成講座が実施できた。



写真ー2 ベンチ椅子体操に取り組む子供

他県における本公開講座の開催にあたり、多大なるご支援とご協力いただいた HBG はなまるキッズ・高知支部代表の廣戸氏をはじめ、関係していただいた皆様に対し、心より感謝の意を表したい。

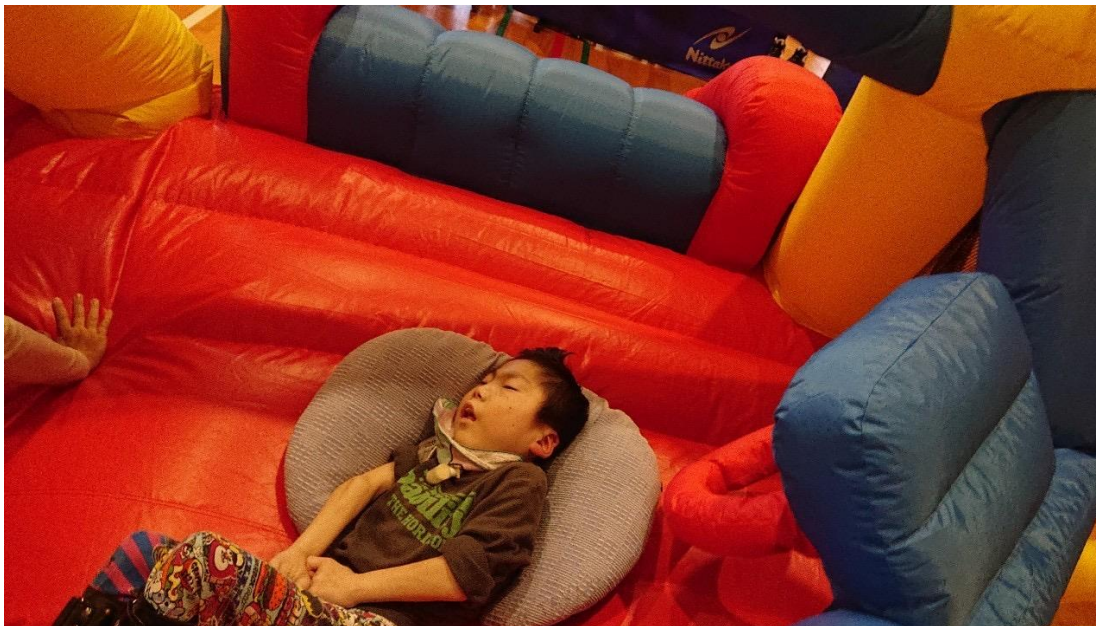
HBG 重度・重複障害児スポ・レク活動「はなまるキッズ」代表(広島文化学園大学)
(※本報告は、HBG はなまるキッズ・こうち支部フェイスブックを参考に作成した)

今回はアダプテッド・スポーツ用具について、HBG はなまるキッズ高知支部代表の廣戸氏を中心となって用具を自作したり、高知県立高知若草養護学校から借用したりする等、広島と同様に活動環境が用意された。他県でも開発したアダプテッド・スポーツ用具が作製され、用意されているアダプテッド・スポーツ活動の場がある子とは大変喜ばしいことである。

また、愛媛からの参加したボランティア支援者(理学療法士)からは「ぜひ、愛媛でも開催したい」と要望があり、今後は連携をとりながら「愛媛支部」の立ち上げ準備を実施したい。



写真一3 ベンチ椅子体操に取り組む子供達と参加者



写真一4 エアートランポリンを楽しむ子供



写真—5 ふわふわ風船バレーボールに取り組む子供



写真—6 トランポリン運動に取り組む子供